



ふもと研究会

眉山のふもとで
 毎日のくらしと
 名もないドラマが
 歴史を作る

私たちはこれからの未来に
 どんなドラマを残すのだろう

私たちは今、
 歴史から続いた一筋の道の上

あしたという未来のふもと

モラエスの会



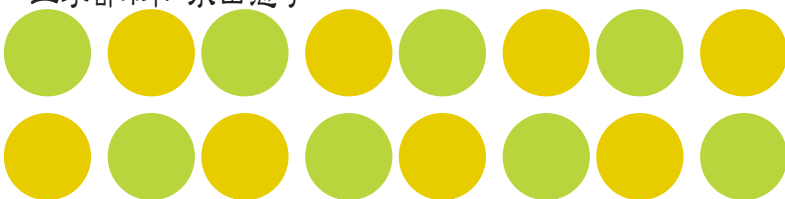
徳島の皆さん、モラエスというポルトガル人を知っていますか？徳島大学に在籍してそろそろ五年目になる私は、ほとんど知りませんでした。知っているのは、眉山に銅像が建っていること、それほど偉い人なんだろうな、と想像するだけの人でした。

そんな私が、徳島大学総合科学部でモラエス研究会が発足するということを聞き、急遽参加することになりました。7月末の日曜日、失礼ながら大した人数はこないのでは？と予想していた私の目に飛び込んできたのは、1号館の307号室を埋めつくす20名以上のモラエスを愛する社会人の方々の姿でした。

会が終わってから「モラエスの日本随想 徳島の盆踊り」という本を読みました。(好奇心のままに出席したので、予習なんかはしていませんでした。)この本は、モラエスが1914年3月5日からの徳島の一年間の様子を、祖国ポルトガルの新聞『ポルト商報』に紹介したもので、のちに単行本化されポルトガルで出版されたものです。日本人の私たちが“伝統”と一括りにしていることに着眼し、モラエスという人間の主観を通して綴られたその、「日記のような随筆のようなとりとめのない覚えがき」は、当時の徳島を非常に細かく生き生きと描いていました。最初は随筆を書くだけで有名になるのだろうか、と思っていた私でしたが、読み進めていくうちに、おそらく、徳島を愛する人たちからみると、このモラエスという異人の残した言葉によって、とても優しく暖かで愛しい存在に見えるのだろうと感じました。

もし、徳島が好きなら、一度は読んでみてはいかがでしょうか。

工学部4年 永田恵子





情報の巣箱より

わたしと麓 ふもと

vol. 10

もうすでに、この「ふもと通信」にも取り上げられていることだが、総合科学部にモラエス研究会を設立した。モラエスのことは初めて徳島に来て以来、常に関心は持っていたが、本格的に研究となるとためらいがあった。まず言葉がポルトガル語でなじみが薄い。日本とポルトガルとの関係を考えれば、もっとポルトガル語が日本で一般的になっていてもおかしくないし、隣の香川大学では昔スペイン語が第二外国語にあったことを考えれば、地域の特色として徳島に、特に徳島大学にポルトガル語が第二外国語としてあってもおかしくはないのかもしれない。

大学院の授業で、これまでに日本比較文学会で少し関わりのあったモラエスのことを話題に出したことがきっかけで、幸いにも受講生ばかりでなく、同じ授業の担当者である佐藤征弥先生、境泉洋先生おふたりの先生がモラエスに興味を持ってくださった。それが小さな種となり、だんだんと成長してやがて総合科学部学部長裁量経費によるプロジェクト研究への応募となった。奇しくも今年二〇一〇年は、日本とポルトガルとの修好一五〇周年記念の年、徳島日本ポルトガル協会の創立四十周年記念の年と偶然が重なっている。もうこれは取り組むしかないだろう。

総合科学部 宮崎隆義

学生支援室だより

No10

今年はすさまじい猛暑でしたが、みなさまお変わりございませんでしたか？

10月1日から後期の授業が始まりました。

授業に参加して下さっている社会人ボランティアのみなさんも、新しい授業、新しい学生と触れ合うことを、心から楽しんで下さっているようで、生き生きとした学びの姿は学生にも大きな影響を与えているようです。

学生がキャンパスに帰ってくることで、大学の表情も私たちも、夏休みムードから一気に秋の雰囲気へと変化していきます。

この夏はいつまで続くの!?と思っていたのに、季節はちゃんと巡って、彼岸花が咲き、金木犀は香り、栗やさつまいもがお店に並ぶようになりました。

私たちはこの季節が教えてくれる自然の素晴らしさや不思議さから多くを学び、自然が与えてくれるたくさんの恵みによって生かされていることを改めて感じます。

秋は活動の全てが実りを象徴しているように思えて、春や夏にもうちよつと頑張っていたらなあーと後悔しつつ、食欲だけはもう冬の準備(笑)

それでも、毎日少しずつでも体を動かすこと、本を読むこと、そして何事にも一呼吸置くこと、を心に決めた今年の秋です。

〈10月の行事予定〉

学生支援室では、Skypeを使った国際交流を行っています。現在は、モンゴルビジネス大学と、韓国慶北大学の学生さん達とインターネットを通じて、お互いの文化や教育、興味のあることなどを話し合っています。

どなたでもご参加いただけますので、リアルタイムで海外の学生さんと交流してみたい!という方は、ぜひお越しください。

言語は日本語でOKですのでご安心ください。

〈今後の予定〉

- ・モンゴルビジネス大学とのスカイプ交流
10/19(火)、21(木)の12:15~12:45
- ・韓国慶北大学とのスカイプ交流
10/21(木)、28(木)の17:00~17:50

どうぞお気軽にお問い合わせください!

学生支援室 Tel:088-656-7205

HP :<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp>